

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成20年度採択）

中間評価結果

番号	研究課題名	研究代表者	評価
20-5	緻密でよく曲がるセメント系材料を用いた補修・補強工法の開発	名古屋大学 教授 中村 光	A

＜研究の概要＞

優れた「力学性能」、「耐久性」および「施工性」を有した緻密でよく曲がる“超高強度ひずみ硬化型セメント系複合材料（UHP-SHCC）”を用いたコンクリート構造物の補修・補強工法の開発・実用化を目指す。

＜中間評価結果＞

研究の進捗状況、研究成果の見通しともに良好であり、補修・補強工法の開発・実用化を目指し、現行のとおり推進することが妥当である。

＜参考意見＞

1. 既存特許への抵触や類似技術との競合を踏まえ、知的財産権への対応を速やかに行うとともに、早期実用化に向けて積極的に推進いただきたい。
2. 他の材料を用いた補修・補強工法、他の工法との比較が分かるよう、研究を進めていただくとともに、あわせて施工条件についても整理していただきたい。